

下大和田谷津田だより

2002年11月号

第17回YPP報告 今年も豊作！収穫祭

10月13日 晴れ

米づくり2年目の今年は、3畝の田んぼからコシヒカリの玄米約100kgが取れました。その収穫を祝う収穫祭を下大和田で行いました。今回はYPPにこれまで参加した方の中から有志が各コーナーを担当して、竹とんぼや竹笛づくり、むしろ編みなどを教えて下さりました。ジュズダマの実でネックレスを作った子もいました。

さて、試食した谷津田米、みんなで育てた取れたての新米の味は格別です。下大和田の豊かな自然の恵みがいっぱい詰まっているからでしょう。炭焼きのサンマ、焼き鳥、アツアツの豚汁、たき火で焼きイモと、食欲の秋を満喫。また、玄米が当たる谷津田クイズをして、お米のことを勉強しました。古代米の一つ、黒米がちょうど熟していたので刈り取って、農家からお借りした足踏み脱穀機や修理して復活させた千歯こきで脱穀しました。昔ながらの機械はよく見るといろいろなところに工夫がされていて、その機能にみんな感心していました。

モズが高鳴く、すがすがしい快晴の秋の日、身も心も満足して、みんなで楽しく過ごしました。

(参加者：大人30人・中高生2人・小学生5人・乳幼児3人、報告：高山邦明)

第33回 定例自然観察会報告

10月6日 曇り

秋の野草の花盛りでした。また実りの季節。アケビの実に歓声を上げ、栗拾いに興じながらの観察会でした。

<植物> アキノエノコログサ、イヌガラシ、イヌタデ、イヌビエ、イノコヅチ、ウシハコベ、エノキグサ、オッタチカタバミ、オキノゲシ、カタバミ、キツネノマゴ、ゲンノショウコ、コナギ、シマスズメヒエ、ジュズダマ、シラヤマギク、シロツメクサ、スカシタゴボウ、セリ、タイアザミ(トチアザミ)、タカサブロウ、タネツケバナ、チヂミザサ、ツククサ、トウバナ、ノゲシ、ハッカ、ヒメジョオン、ヒメムカシヨモギ、メヒシバ; (初) アキノゲシ、アシボソ、アゼガヤツリ、アメリカイヌホオズキ、アメリカセンダングサ、イヌショウマ、イボクサ、オオオナモミ、オオジシバリ、オオバコ、オオハナワラビ、カゼクサ、カナムグラ、カワラスガナ、カントウヨメナ、キクモ、キバナアキギリ、キンエノコロ、コセンダングサ、コブナグサ、ススキ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、タウコギ、チカラシバ、トキワハゼ、トキンソウ、トダシバ、ヌカキビ、ネズミノオ、ノコンギク、ノダケ、ノミノフスマ、ハイヌメリグサ、ハキダメギク、ハシカグサ、ハルジオン、ヒメクグ、ヒメジソ、ヒメヒラテンツキ、ヒロハノイヌノヒゲ、フタバムグラ、ミズ、ミズヒキ、ミゾソバ、メナモミ、ヤナギイノコズチ、ヤナギタデ、ヤノネグサ、ヤブマメ、ヤマハッカ、ヨシ、ヨモギ

(「初」以下の植物は前回9月1日の観察会では開花が記録されなかったものです)

<昆虫・蜘蛛・他> オオアオイトトンボ、ナガコガネグモ、ヒトリガの仲間の幼虫、ウマオイ、アメリカシロヒトリ若齢幼虫、ヤマトシジミ、ヒメアカタテハ、エンマコウロギ、モリチャバネゴキブリ、オンブバッタ、ノシメトンボ、シオカラトンボ、アキアカネ、ドヨウオニグモ、ナナホシテントウ、オオカマキリ、アケビコノハ、オオシロカネグモ、イチモンジセセリ、セスジツクムシ、シマアメンボ、ヒメジャノメ、カラスアゲハ幼虫、ベッコウシリアゲ、コカマキリ、イオウイロハシリグモ、ホタルガ、コアシダカグモ

<野鳥> キジ、モズ、コジュケイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コゲラ、ヤマガラと思われる声、カケス、ヒヨドリ

<両生類・爬虫類> ニホンアカガエル、ニホンカナヘビ、ヤマカガシ

(参加者7名 報告：網代春男)

定例観察会と谷津田プレラッドプロジェクト(YPP)の活動を中心として、下大和田のようすを皆さんにお伝えします。皆様のご投稿、ご意見をお待ちしています。 高山邦明